

市の考えを問う

10人の
議員が
質問!

一 般 質 問

9月定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。掲載文に関する文責は各議員にあり、内容に関するご意見やお問合せは、議会事務局までご連絡ください。なお、質問の全内容は、会議録や会議録映像ネット配信で閲覧することができます。(右のQRコードで映像ネット配信に進めます)



議会の質問は、提案された議案に対する「質疑」と、市政全般(一般事務)に対する「一般質問」があります。また、知立市議会では質問時間を40分までと定め、市長には「反問権」が認められています。

議員は一般質問を行うために、様々な情報収集や調査研究を行い、市における施策の問題提起や注意喚起を行い、執行部も現状把握や解決策等、方向性を示す共通理解の場としてとても重要です。

困難を乗り越え 笑顔あふれる知立市を目指し

市政会 山田 圭 議員



問 SDGs的なスポーツである「プロギング」、「eスポーツ」を市として多文化共生の面から取り入れていくのか。

答 地域や各種団体との連携が不可欠であり前向きに検討していきたい。多文化共生体制構築の手段として検討する。

問 「多文化共生の未来都市知立」が実現することによって知立市民のQOL^{※1}がどのように向上するのか。

答 外国人の日本語教育が充実し、高度人材化を図ることができれば、日本人と外国人との互いの国の文化理解へとつながり、より住みやすい知立市が実現する。

問 2015年に日本第一号として西三河5市で首長誓約をしたが、2019年に脱退した。次世代エネルギー、スマートハウス^{※2}やZEH、水素エンジンや水素ステーション

ンなどは広域でやるべきと考えるが、市長の都市間連携の考えは。

答 非常に重要なことだと考えている。例えば救急・消防車などは衣浦東部広域連合がある。燃えるごみの処理は刈谷知立環境組合がある。一度、首長誓約を結んだが世界基準の物差しが作られて知立市はついていけなかった。新たに豊田市や岡崎市とも連携を考えられる。脱炭素という視点では連携していきたい。



※1 QOL：クオリティ・オブ・ライフ。ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた「生活の質」のこと。

※2 ZEH(ゼッチ)：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス。断熱性能の向上・高効率設備導入による省エネ+再生可能エネルギー導入により、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした住宅。

知立連続立体交差事業の見通し



立志会 風間 勝治 議員

問 名鉄知立駅付近連続立体交差事業は、昭和51年度に国から事業調査の採択をされて以来の一大事業である。都市計画決定上の事業施行期間は、平成12年度から令和5年度である。あと残り2年半となり、令和5年度完成に向け現在の進捗状況は。市民注目の懸案事業を計画通り、令和5年度事業の完了はできるか。

答 事業主体である愛知県からは、令和5年度完成見込みと聞いている。事業の進捗率は現在7割であり、今後は覚悟と責任を持ち、県や名鉄、市と3者協力して、着実な完成を目指し進めていきたい。

問 三河知立駅移設、整備の現状の進捗状況と完了見通しは。

答 必要な用地は100%確保した。あとは駅舎建設を待つだけだが、いつ名鉄が

事業着手するかの情報は聞いていない。

問 駅周辺や中心市街地の活性化、賑わいづくりに関して今後の方策は。また、議会へのより一層の情報提供や連携の強化を図り、市民、行政、議会が一丸となり完成を目指していくべきでは。

答 商工会と駅周辺まちづくり協議会で、活性化等の協議をしている。広く市民の意見を反映できる制度を検討する。議会に情報提供を心掛け連携して進めていく。



女性の視点からの防災について



公明党 那須 幸子 議員

問 令和2年12月25日に閣議決議された第5次男女共同参画基本計画では、地方防災会議の女性委員の割合を3割にすることを目標としているが知立市の現状は。

答 現在25名のうち女性委員は4名。今後女性の割合を増やすよう努めていく。

問 平日の昼間は女性と高齢者が災害対応の中心になる。自主防災会において女性の参画が重要だと考えるが。

答 女性が多く参加することの必要性や参加しやすくなる取組みを働きかける。

問 内閣府では令和3年5月20日に、避難行動要支援者の、個別避難計画の作成を努力義務化した。知立市の対応は。

答 区長など地域住民、ケアマネージャーなどの専門職に協力してもらおう必要がある。作成を検討している。

問 令和3年5月20日から避難警戒レベル3で高齢者避難となった。名簿で把握していない一人暮らしの高齢者の避難は。

答 隣近所の助け合いが必要になる高齢者が存在する可能性がある。繰り返しのレベル変更の周知が必要と考える。

問 子どもに特化した液体ミルクの備蓄について知立市の考えは。

答 液体ミルクの必要性は認識している。今年度中の備蓄を考えている。



よりよい教育環境の整備と自治体広報の質の向上



立志会 田中 健 議員

問 G I G Aスクールを実現していく上で、教員や子どもたちをサポートするICT支援員の存在が重要。急な需要により質の低下が課題となっているがどうか。

答 当初は現場の要望に応えられない面もあったが、現在は改善している。学校からの要望は支援員側にも伝えており、引き続き連携を図りながら取り組む。

問 先進事例では学生ICT支援員も登用している。知立市は愛知教育大学とも協定を結んでおり、今後教員を目指す学生にとっても必須課目なので検討しては。

答 愛教大との連携を活かし、学校への支援方法や内容について提案してみたい。

問 文科省から教員の働き方改革の一環として、学校給食の公会計化について通知が来ているが、知立市の進捗は。

答 徴収は口座振替とし市の会計に入れているが、滞納者への督促業務は学校が行っており実現しておらず今後の課題。

問 コロナ禍で改めて自治体広報の重要性が見直されている。発信して良しではなく、届いて、伝わって、行動変容につながる事が重要。カタログポケットは多言語にも対応しており、有効な活用を。

答 ICT技術を有効に活用できておらず、広報の質を高める取り組みを図る。



※ICT支援員：学校における教員のICT活用をサポートすることにより、ICTを活用した授業等を教員がスムーズに行うための支援を行う人

「町内会加入率」の向上と「機織池の環境整備」について



民友クラブ 稲垣 達雄 議員

問 知立市の人口、世帯数、加入率は。

答 2000年度人口6万2,235人、2万3,150世帯、加入率77.2%、2020年度は人口7万2,392人、3万2,541世帯、加入率66.6%。

問 20年間で入会率10.6%下落。理由は。

答 メールやLINEでのやり取りが増えた事や、転入した若者が入会しない事、集合住宅の増も一因と考えられる。

問 町内会の役割と存在意義の認識は。

答 日常生活の中で防犯・防災等事業の運営。住民同士の親睦交流・災害時の助け合いや困り事を解決する組織と認識。

問 八尾市や出雲市では、後期高齢者には役員任務の免除や会費の減額。相模原市は加入者に宿泊施設やレジャー施設の利用割引など実施。当市も検討すべき。

答 加入促進策の情報提供をしたい。

問 機織池の公園化整備計画の進捗は。

答 令和3年度予算に1,825万円計上。6月に埋立及び仮排水路の設計委託、9月に施工契約を結び、10月以降地元説明会を開催。工期は令和4年2月28日迄。

問 工事期間中ゴミ集積に支障ないか。

答 事前に仮設集積場を整備する。

問 埋立の土は、猿渡川浚渫工事の残土を利用してコスト縮減を図るべき。

答 埋立用として問題なければ使いたい。

